

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	教育実習〔高等学校〕(Teaching Practice)		
ナンバリングコード	K40801	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 総合レベル
単位数	3	配当学年 / 開講期	3年 / 通年(後期前期)
必修・選択区分	教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	K000552	クラス名	経営経済学部
担当教員名	斉藤 雄次、斉藤 雄次		
履修上の注意、履修条件	教育実習では、中学または高校において教育実習生として勤務し、教員の職務の一部を担当し、実際に教師として学習指導や生徒指導等を行います。これは、生徒の成長・人格形成に大きな影響を及ぼします。したがって、教育実習に参加するにあたって、この授業でしっかりと学んで周到に準備してください。また、実習後は実習報告会を通じて振り返り活動を行い、教師の使命を再確認してください。 そのため、毎回の授業に必ず出席すること。無断の欠席、遅刻等は厳禁です。		
教科書	宮崎・小泉編著『教育実習完璧ガイド』、小学館、2015年。		
参考文献及び指定図書	『教育実習日誌』		
関連科目	教職課程における全ての授業		

○基本情報	
授業の目的	この授業の目的は、必要な能力を養った上で、教育実習に参加し、そこで得た経験を反省し、今後の課題を見いだすことです。
授業の概要	3年次後期は事前指導、4年次前期は事前指導と事後指導を行います。 事前指導では、教育実習の意義や教育実習の心得を学びます。また、教育実習の要である「授業実習」がより充実したものとなるよう、実際の授業に近い形の模擬授業を、学習指導案を作成したうえで行います。 事後指導は、教育実習後に、その経験を振り返り、深化します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	カテゴリー II : 地域での体験交流活動を教育内容に含む科目
実務経験のある教員による授業科目	斉藤雄次 高等学校の地理歴史科・公民科教諭として、福井県内の公立高等学校で9年間勤務した経験がある。この科目では、教員としての実務経験の中で培った、学校現場のさまざまな活動に関する知識や視点を学生に提供し、学生の学校の教育活動全般に対する総合的な理解を深めさせる。

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	教職の使命感を再確認できたか。		10点	10点
【知識・理解】	教育実習で求められる知識を習得できたか。		10点	10点
【技能・表現・コミュニケーション】	円滑に授業ができたか。		15点	15点
【思考・判断・創造】	学習指導案が書けたか。		15点	15点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
<p>授業の参加状況、模擬授業の内容、「教育実習日誌」の記載内容、教育実習の報告内容、実習校で出された評価内容、レポート等により、成績を評価します。また、「教育実習日誌」は卒業式後の教員免許状授与時に返却します。</p> <p>教育実習は、教育実習校での実習が2単位、大学での事前事後の授業が1単位の合計3単位です。教育実習校はもちろん、大学の授業も必ず出席する必要があります。やむなく欠席や遅刻等になる場合は、いずれも事前の連絡をしてください。無断の遅刻、欠席等は厳禁です。</p> <p>課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。</p>	

○その他	
<p>（この欄は空欄です）</p>	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名	教育実習[高等学校] (Teaching Practice)	授業コード	K000552
	担当教員	斉藤 雄次、斉藤 雄次		
学修内容				
1. ガイダンス 授業の進め方、教育実習の役割、教育実習の予定等についての説明を聞き、教育実習の概要について理解します。				
	予習	これまでの教職課程で学んだ内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
2. 教育実習の心得 授業参観の着眼点、授業実習の視点(発問等、板書、指名、ノート指導、情報機器、学習プリントなど)、授業実習後の反省の際の着眼点等について学びます。				
	予習	教科書のSTEP3及び4を読んでください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
3. 教育実習の心得 学校生活は生徒にとってかけがえのないものであることをふまえて、実習生として心得ねばならない基本的事項について学びます。				
	予習	教科書のSTEP1を読んでください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
4. 教育実習の心得 礼儀やマナーを含め、教員としての使命感をいただき、守秘義務を守り、信用失墜行為を防止するために必要な事項等を学びます。				
	予習	教科書のSTEP2を読んでください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
5. 教育実習の心得 実際の教育実習日誌をもとに、実習の毎日の証となる教育実習日誌の意義・記入方法・活用の仕方について学びます。				
	予習	教科書のSTEP5を読んでください。また、「教育実習日誌」に事前に目を通してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
6. 教育実習の心得 研究授業の注意点や、お礼文の書き方、教育実習報告書の書き方など、実習終盤から実習後にかけての対応について学びます。				
	予習	これまでの講義で学んだ内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
7. 教育実習報告会 教育実習を経験した人から教育実習報告を聞き、教育実習についてのイメージを具体化します。				
	予習	これまでの講義で学んだ内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
8. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案を作成して下さい。教科書STEP3を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめ提出して下さい。教科書STEP4を読んでください。		(約2.0h)

○授業計画	科目名	教育実習[高等学校] (Teaching Practice)	授業コード	K000552
	担当教員	斉藤 雄次、斉藤 雄次		
学修内容				
9. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案を作成して下さい。教科書STEP3を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめ提出して下さい。教科書STEP4を読んでください。		(約2.0h)
10. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案を作成して下さい。教科書STEP3を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめ提出して下さい。教科書STEP4を読んでください。		(約2.0h)
11. 模擬授業演習 学習指導案を配布したうえで、模擬授業を行います。それを参加者で批評します。				
	予習	学習指導案を作成して下さい。教科書STEP3を読んでください。		(約2.0h)
	復習	模擬授業の反省をまとめ提出して下さい。教科書STEP4を読んでください。		(約2.0h)
12. 教育実習の心得 観察(見学)、参加、授業実習をする上での注意事項の確認や、実習校に提出する書類の記入・確認を行い、教育実習に向けた最終確認をします。				
	予習	これまでの講義で学んだ内容を整理してください。		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
13. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
14. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
15. 教育実習報告会 教育実習の報告・反省を行い、大学で学んだ内容の理解を深め、今後の課題を見いだします。				
	予習	教育実習の反省をまとめてください。(教育実習報告書をユニバ等に提出する)		(約2.0h)
	復習	学んだ内容をノートにまとめてください。		(約2.0h)
16.				
	予習			
	復習			